

2025年度第1四半期決算説明会

2025年8月7日

業績概要

越路 和朗

執行役員

チーフ ファイナンシャル オフィサー

2025年度第1四半期決算サマリー

今期は売上・利益ともに下半期偏重のため減収・減益幅が通期予想に比べ第1四半期では大きいですが、想定通りの進捗

■ 2025年度第1四半期実績

売上収益：687億円（前年同期比-8.1%）

コア営業利益：97億円（前年同期比-38.9%）

親会社帰属四半期利益：59億円（前年同期比-44.7%）

■ 事業関連Update

ジクアスLX：下半期の出荷を目指し、製造開始

中長期成長：近視進行抑制点眼剤の欧州上市/アジア申請、STN1013900（緑内障）の日本申請

■ 通期業績予想

5月13日開示より変更なし

■ 株主還元

2025/5/22～11/5 上限350億円の自社株買実施中（7月末時点：141億円実施済み）

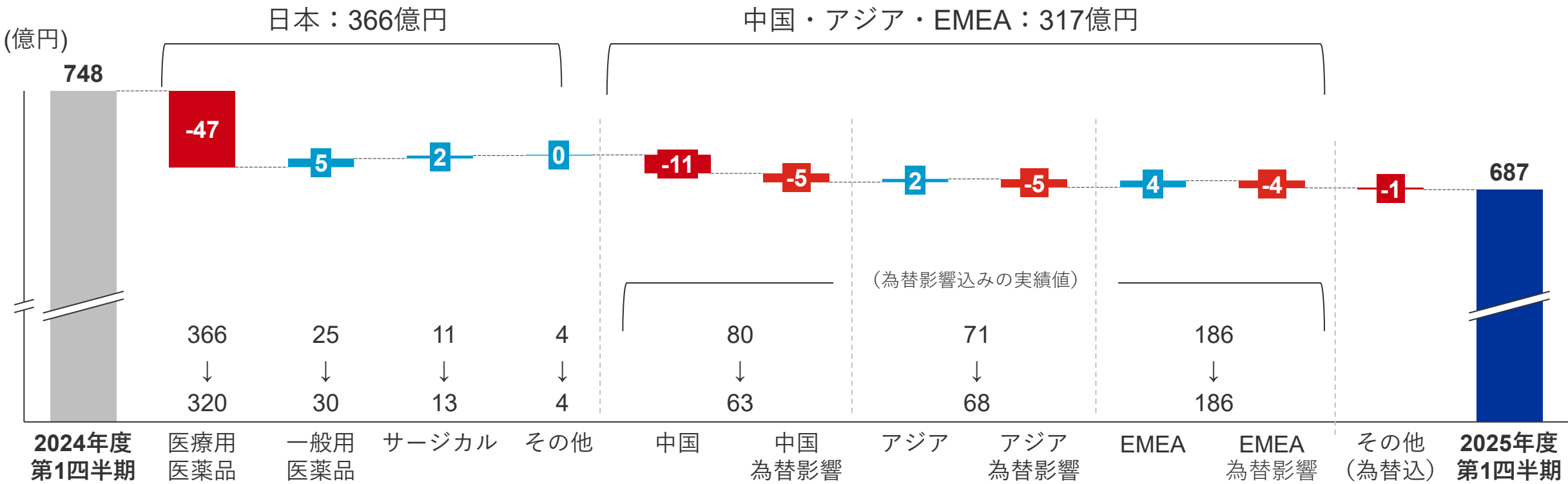
2025年度第1四半期 実績

	2024年度 第1四半期実績	2025年度 第1四半期実績
USD (円)	156.88	144.63
EUR (円)	168.77	163.81
CNY (円)	21.80	20.07

(単位：億円)	2024年度 第1四半期		2025年度 第1四半期		
	実績	対売上 収益比率	実績	対売上 収益比率	対前年同期 増減率
売上収益	748	-	687	-	-8.1%
売上原価	320	43%	316	46%	-1.2%
売上総利益	428	57%	371	54%	-13.2%
販売費及び一般管理費	214	29%	212	31%	-0.8%
研究開発費	55	7%	62	9%	+12.8%
コア営業利益	159	21%	97	14%	-38.9%
製品に係る無形資産償却費	24	3%	22	3%	-10.6%
その他の収益	1	0%	2	0%	+177.8%
その他の費用	4	0%	1	0%	-62.4%
営業利益	132	18%	76	11%	-42.4%
金融収益	7	1%	6	1%	-10.7%
金融費用	4	1%	7	1%	+84.2%
税引前四半期利益	135	18%	75	11%	-44.6%
法人所得税費用	28	4%	16	2%	-44.2%
(税負担率)	21%	-	21%	-	+0.2pt
四半期利益	106	14%	59	9%	-44.7%
親会社帰属四半期利益	106	14%	59	9%	-44.7%
コア四半期利益	125	17%	76	11%	-39.0%
EBITDA	182	-	120	-	-33.7%

- 売上収益：アレジオン類の前期末流通在庫過多等や中国の昨年度下半期からの流通在庫水準調整等の影響を受ける
- 原価率：主に製品構成等により一時的に上昇
- 利益：対前年減となるも、想定通りの進捗

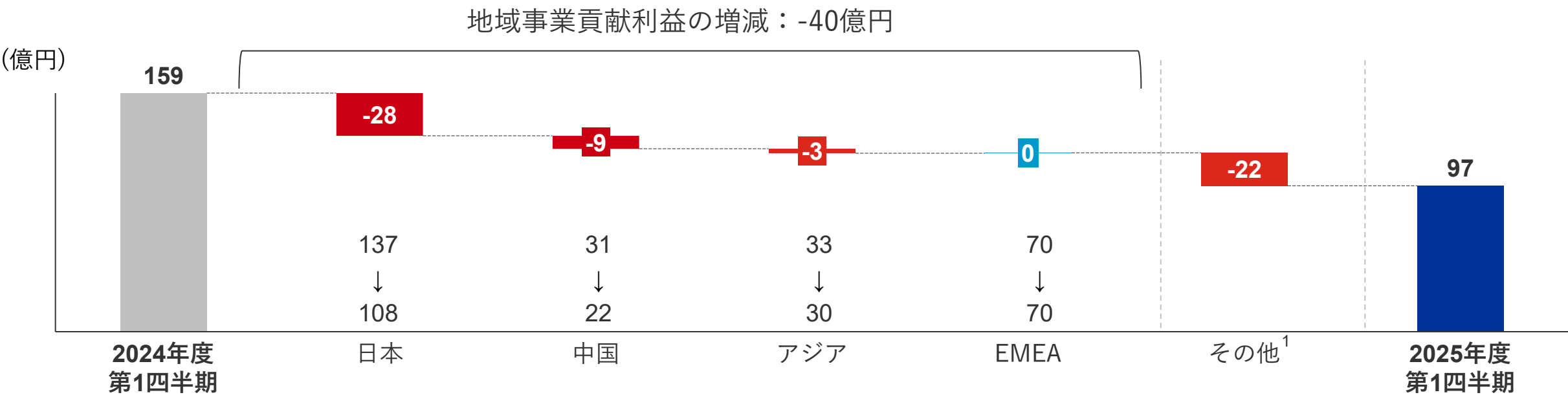
2025年度第1四半期 売上収益増減要因



日本	対前年同期 -9.6%：アレジオン類の前期末流通在庫過多及びクリーム剤の前期初期出荷の反動や製品構成変化
中国	対前年同期 -20.9%（為替影響除外 -14.0%）：昨年度下半期からの流通在庫水準調整（クラビット、ヒアレイン）及びジクアス売上減
アジア	対前年同期 -4.3%（為替影響除外 +2.8%）：東南アジア地域で緑内障やドライアイ製品が堅調に推移したものの、韓国における緑内障市場が競争激化
EMEA	対前年同期 -0.2%（為替影響除外 +2.2%）：Ikervisが引き続き成長し貢献。緑内障新製品は順調、それ以外の製品については想定通り

5 ※顧客の所在地をもとに国または地域に分類。 EMEA：欧州・中東・アフリカ地域。香港は中国に含む

2025年度第1四半期コア営業利益増減要因



地域事業 貢献利益の増減	日本
	アレジオン類の前期末流通在庫過多及びクリーム剤の前期初期出荷の反動や製品構成変化による影響を、他領域の堅調な推移や販管費の抑制等などでカバーするも貢献利益が減少
地域事業 貢献利益の増減	海外（為替影響込み）
	中国：昨年度下半期からの流通在庫水準調整（クラビット、ヒアレイン）、ジクアス売上減の影響を販管費の適切な管理により緩和するも貢献利益が減少
	アジア：為替影響を除くと対前年同期並みの貢献利益を確保
	EMEA：堅調な売上推移により前年同期並みの貢献利益を確保
その他増減	R&D費用等の増加による影響

6 1 各地域およびグローバルでのR&Dや間接部門等の費用等、および上記以外の地域に関連する貢献利益。※香港は中国に含む

2025年度 連結業績予想（5月13日開示より変更なし）

	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想
USD（円）	152.70	145.00
EUR（円）	163.57	160.00
CNY（円）	21.29	20.50

(単位：億円)	2024年度		2025年度			
	実績	対売上 収益比率	予想	対売上 収益比率	対前期 増減率	第1四半期 進捗率
売上収益	3,000	-	2,940	-	-2.0%	23.4%
売上原価	1,290	43%	1,230	42%	-4.6%	25.7%
売上総利益	1,710	57%	1,710	58%	-0.0%	21.7%
販売費及び一般管理費	875	29%	920	31%	+5.1%	23.0%
研究開発費	241	8%	250	9%	+3.7%	24.8%
コア営業利益	594	20%	540	18%	-9.1%	18.0%
ノンコア費用	4	0%	-	-	-100.0%	
製品に係る無形資産償却費	88	3%	87	3%	-1.3%	
その他の収益	6	0%	7	0%	+18.8%	
その他の費用	39	1%	20	1%	-48.1%	
営業利益	469	16%	440	15%	-6.1%	17.2%
金融収益	40	1%	13	0%	-67.5%	
金融費用	27	1%	14	0%	-48.5%	
持分法による投資損失	7	0%	-	-	-100.0%	
税引前当期利益	475	16%	439	15%	-7.5%	17.0%
法人所得税費用	116	4%	104	4%	-10.6%	
(税負担率)	25%	-	24%	-	-	
当期利益	359	12%	335	11%	-6.6%	17.5%
親会社帰属当期利益	363	12%	340	12%	-6.2%	17.3%
ROE	12%		12%			
EPS（IFRS）円	104	-	103	-	-1.3%	16.9%

■ 売上変動要因

国内

- ・ 下半期におけるジクアスLXの再出荷時期、及び出荷量
- ・ 花粉飛散期におけるアレジオンクリームの浸透

海外

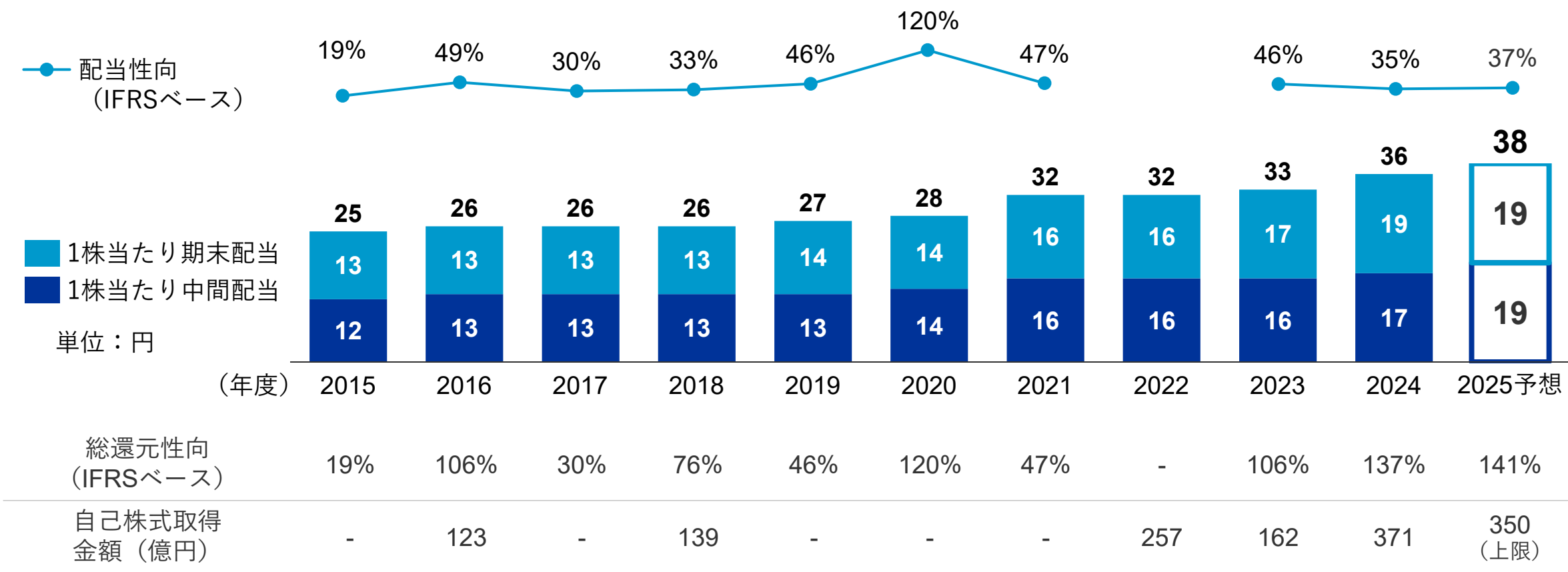
- ・ 中国における流通在庫水準の平常化等
- ・ EMEA、アジア業績の堅調な推移

■ 営業利益変動要因

- ・ 下半期にかけての製品構成による原価率の改善

株主還元

- 5月22日より上限19,800,000株もしくは350億円の自己株式取得を実施中
- 7月末時点での取得状況：8,567,400株、141億円



研究開発アップデート

ピーター・サルスティグ

執行役員

チーフ メディカル オフィサー

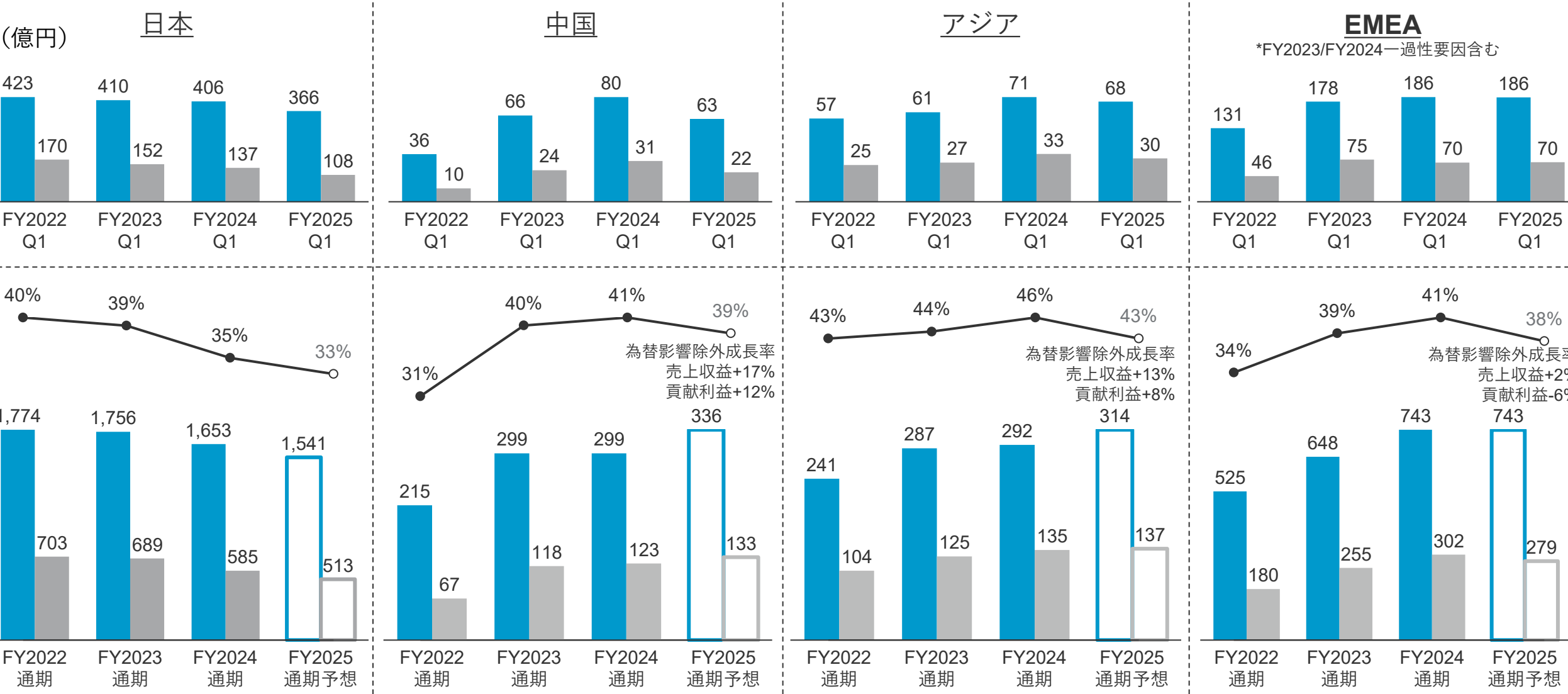
2025年度第1四半期 R&Dアップデート

新規疾患領域	アトロピン硫酸塩 STN1012700/01 リジュセアミニ/Ryjunea	近視	欧州（ドイツ）で、 上市 アジアで、 申請
既存疾患領域	ネタルスジルメシル酸塩 STN1013900 Rhopressa®/Rhokiinsa®	緑内障	日本で、 申請
	エピナスチン塩酸塩 (眼瞼クリーム) STN1011402	アレルギー性 結膜炎	中国で、 P3試験準備を開始
	オロダテロール塩酸塩 STN1014100	ドライアイ	日本でのP2b試験で、 FPI¹

Appendix

地域別売上収益・貢献利益

売上収益 貢献利益 貢献利益率

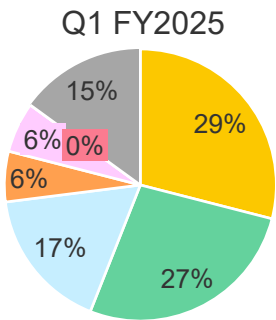


12 貢献利益：各地域の売上収益からその地域の売上原価および売上創出に関連する費用を控除したもの。貢献利益の算出には各地域事業に直接貢献する売上収益を用いており、必ずしも仕向地別売上収益と一致していません。2023年度に実施した海外地域の組織変更影響を反映しています。香港は2023年度まではアジアに、2024年度以降は中国に分類されています。

2025年度第1四半期 仕向地域別売上収益

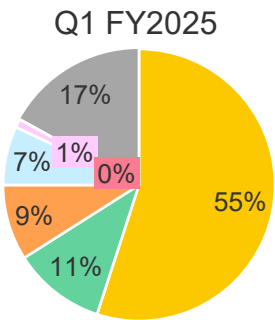
連結合計

YTD	Q1 FY2024 (参考)	Q1 FY2025
アイリーア 硝子体内注射液 ¹	199億円	201億円
コソプト配合点眼液	72億円	63億円
タプロス点眼液	43億円	38億円
その他	435億円	385億円
合計	748億円	687億円



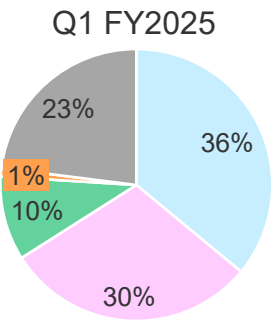
日本

YTD	Q1 FY2024 (参考)	Q1 FY2025
アイリーア 硝子体内注射液 ¹	199億円	201億円
アレジオン点眼液 ²	63億円	32億円
ジクアス点眼液	12億円	16億円
その他	133億円	117億円
合計	406億円	366億円



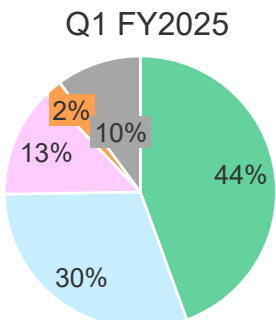
中国

YTD	Q1 FY2024 (参考)	Q1 FY2025
ヒアレイン点眼液	22億円	18億円
クラビット点眼液	21億円	16億円
タプロス点眼液	6億円	6億円
その他	30億円	23億円
合計	80億円	63億円



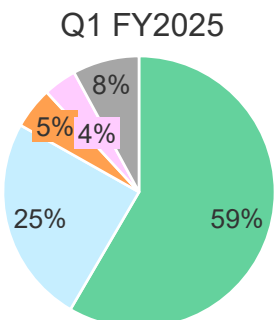
アジア

YTD	Q1 FY2024 (参考)	Q1 FY2025
コソプト配合点眼液	18億円	16億円
ヒアレイン点眼液	10億円	9億円
クラビット点眼液	5億円	7億円
その他	38億円	37億円
合計	71億円	68億円

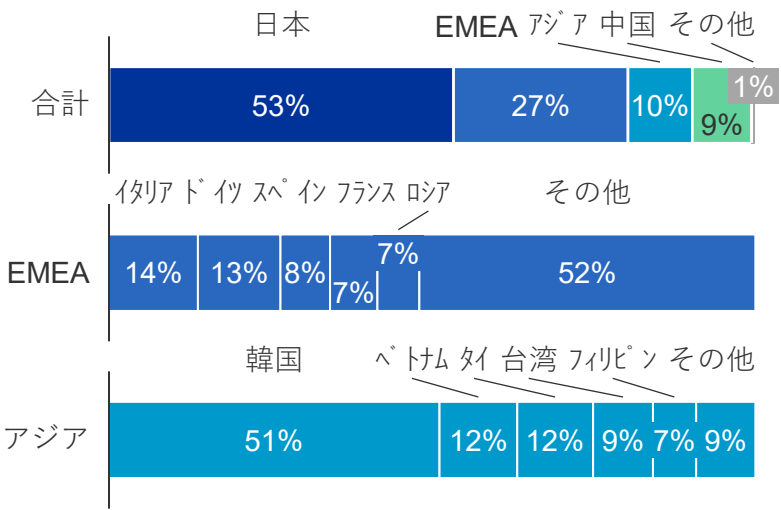


EMEA

YTD	Q1 FY2024 (参考)	Q1 FY2025
コソプト配合点眼液	45億円	43億円
Ikervis	23億円	27億円
タプロス点眼液	21億円	20億円
その他	96億円	96億円
合計	186億円	186億円



主要国・地域別売上比率 (Q1 FY2025)



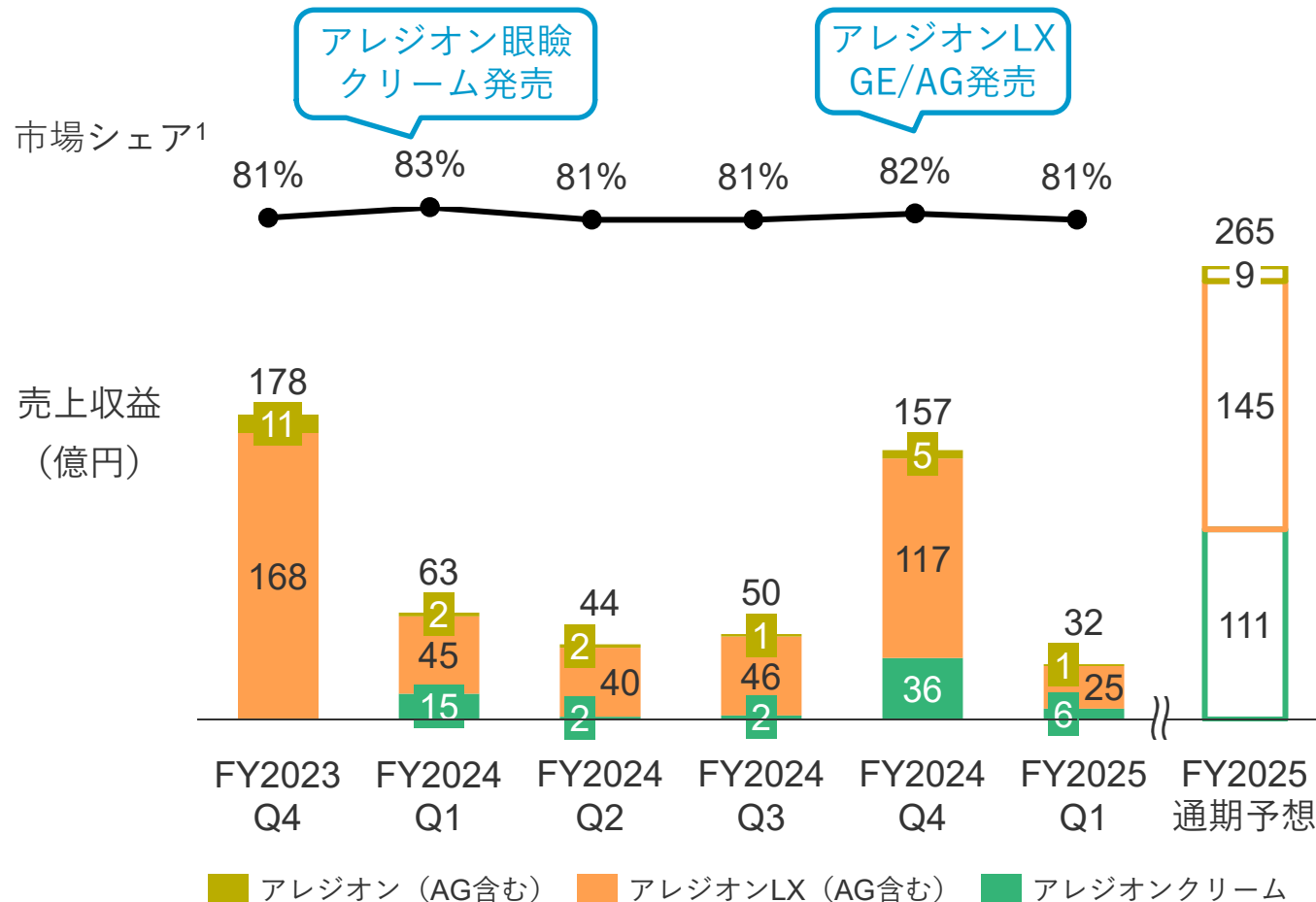
¹ 製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品。アイリーア8mgを含む

² アレジオン: 提携パートナーであるBoehringer Ingelheim KGの商標。アレジオンLX・アレジオン眼瞼クリーム・エピナスチン塩酸塩点眼液・エピナスチン塩酸塩LX点眼液を含む

アレジオン類

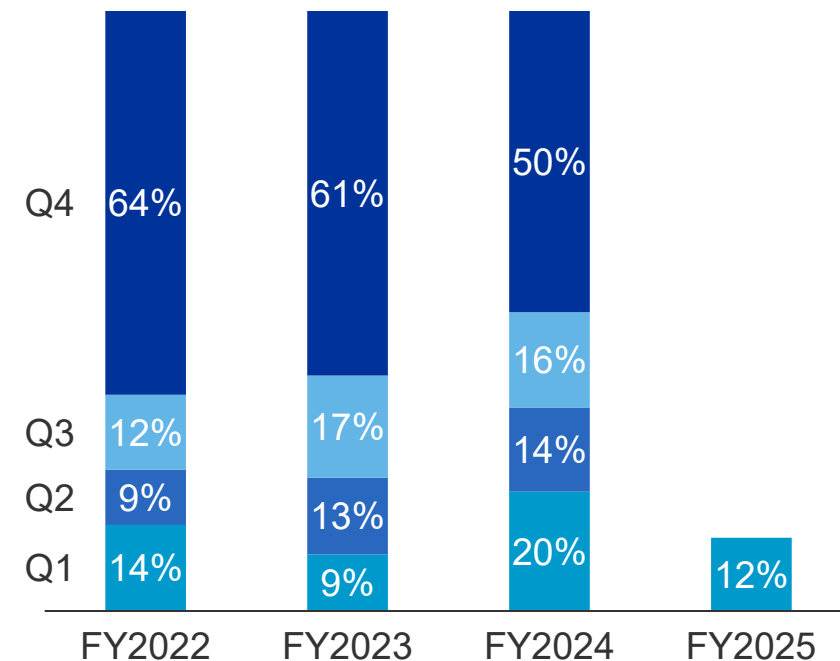
売上および市場シェア

- 抗アレルギー剤市場におけるアレジオン類のシェアは維持

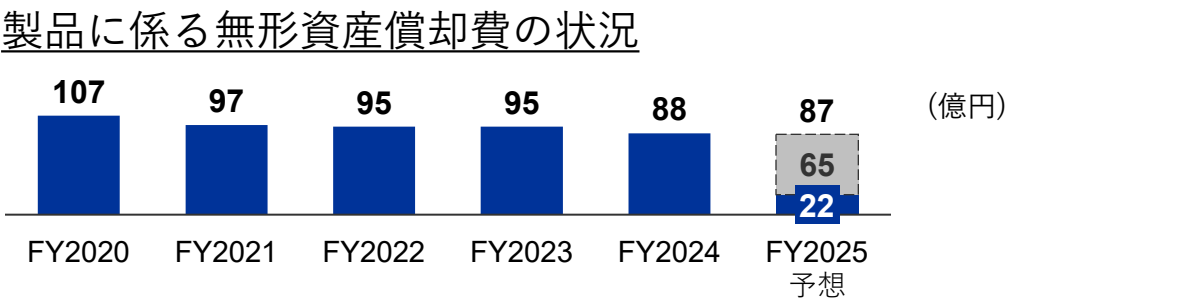
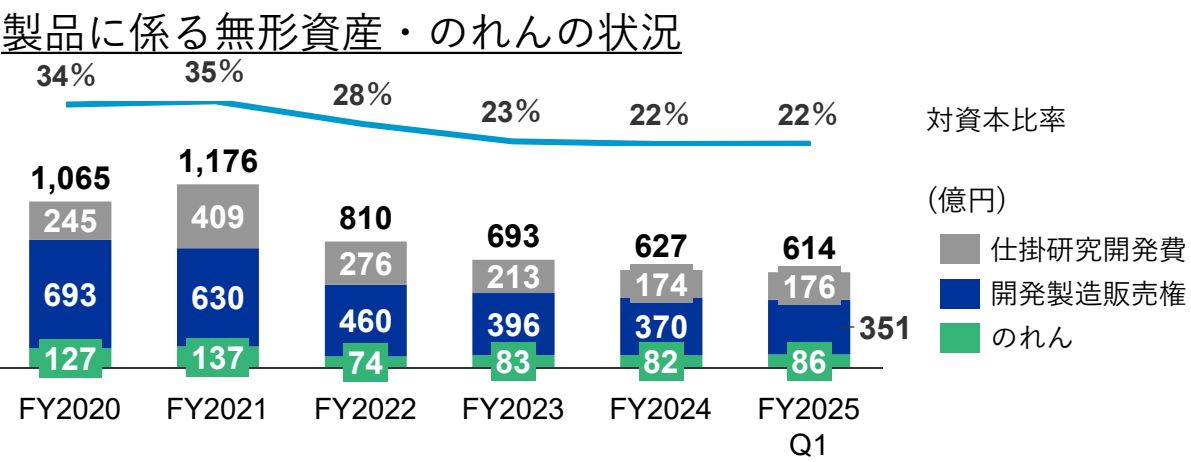
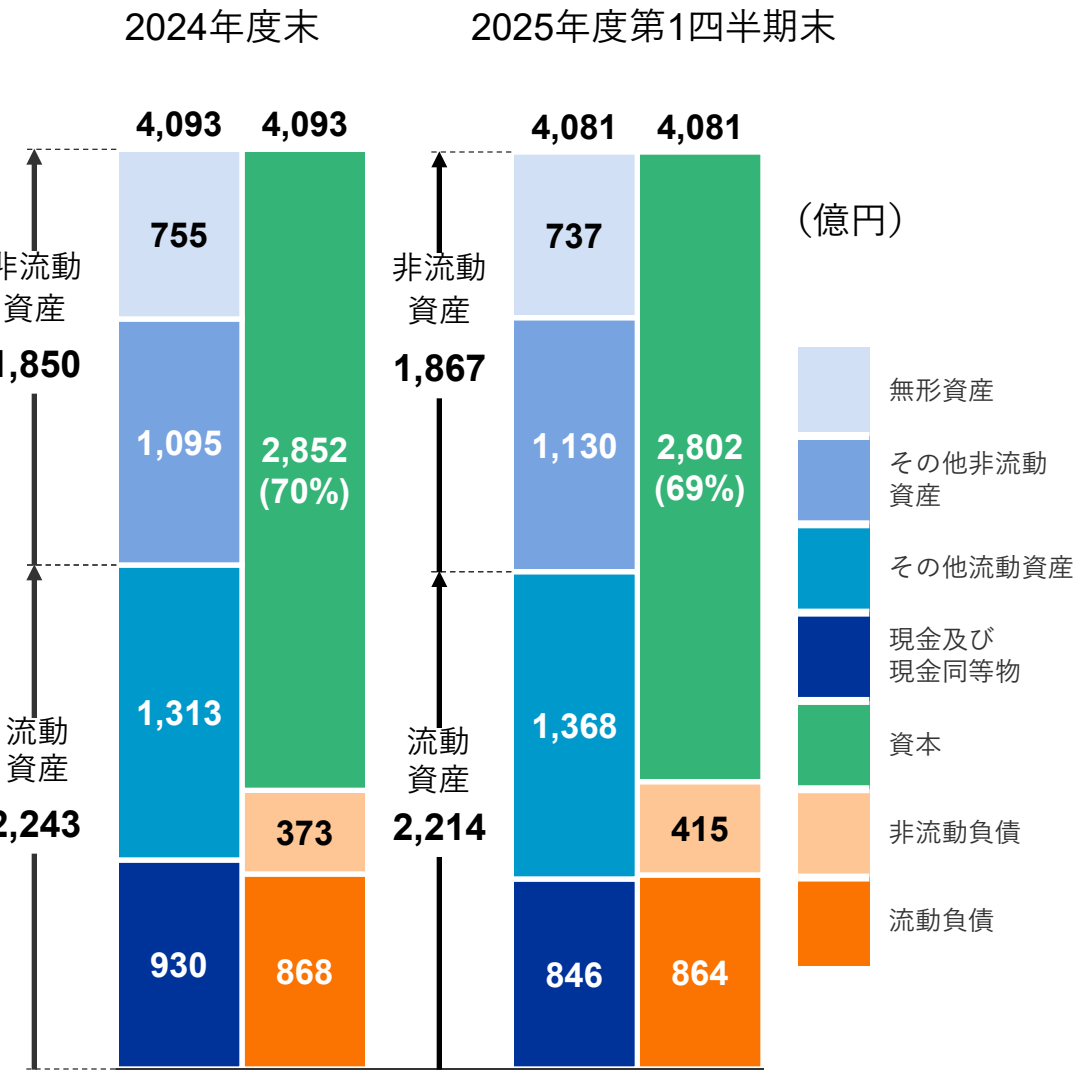


売上進捗率

- 花粉症シーズンの第4四半期に偏重
- FY2023Q1は前年度花粉シーズンの反動有



B/Sを含む財務状況



ROE・ROIC・CCC¹

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 Q1	FY2025 予想
ROE	3%	8%	-	9%	12%	-	12% ²
ROIC	5%	12%	-	16%	18%	-	17% ³
CCC	220日	190日	194日	167日	170日	183日	165日

キャッシュ・フロー

2021年度末

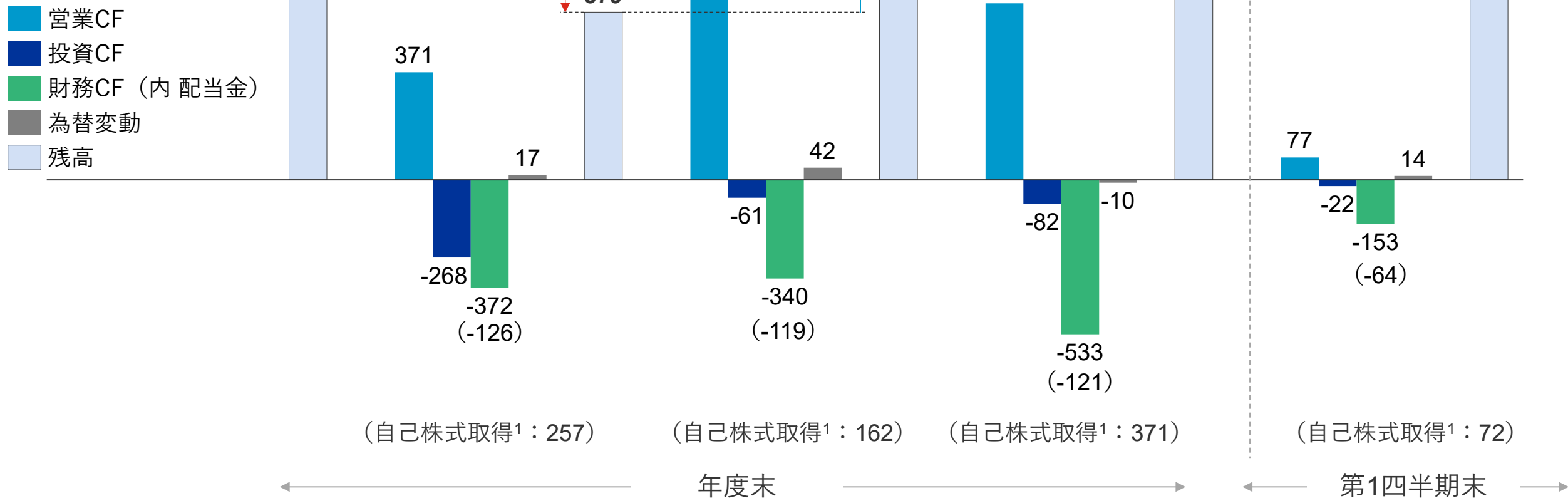
2022年度末

2023年度末

2024年度末

2025年度
第1四半期末

(億円)



外国為替レート前提と感応度

為替レート前提

(円)

	2024年度 第1四半期 実績	2025年度 第1四半期 実績	2025年度第1四 半期 vs 2024年 度第1四半期	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	2025年度 vs 2024年度	2025年度第1四 半期 vs 2025年 度通期予想
USD	156.88	144.63	92.2%	152.70	145.00	95.0%	99.7%
EUR	168.77	163.81	97.1%	163.57	160.00	97.8%	102.4%
CNY	21.80	20.07	92.1%	21.29	20.50	96.3%	97.9%

為替感応度

2025年度業績予想における予想レート比1%円安時の影響

(億円)

	合計 ¹	USD	EUR	CNY
売上収益	+12	+0.2	+6.7	+3.3
コア営業利益	+1	-0.6	+0.7	+0.7
営業利益（IFRS）	+1	-0.7	+0.5	+0.6

2025年度第1四半期実績為替影響

（対前期レート）

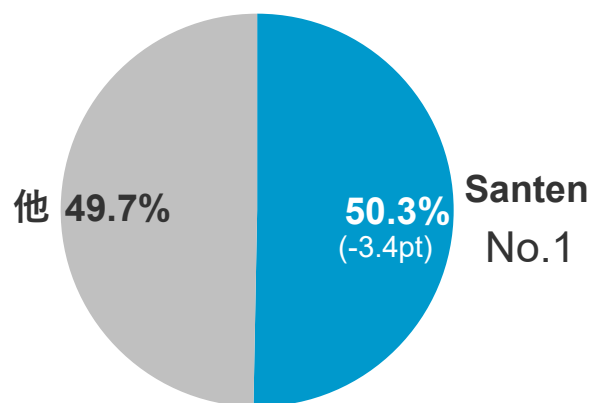
(億円)

	合計
売上収益	-16
コア営業利益	-3
営業利益（IFRS）	-2

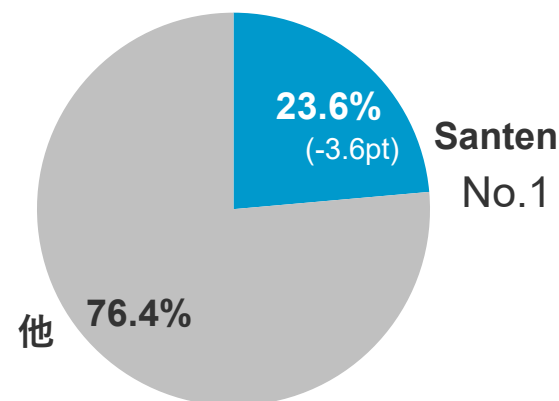
1 上記3通貨にその他主要通貨を加えた主要通貨における合計値（小数点以下四捨五入）

国内医療用眼科薬 市場概況 (2024年7月-2025年6月累計)

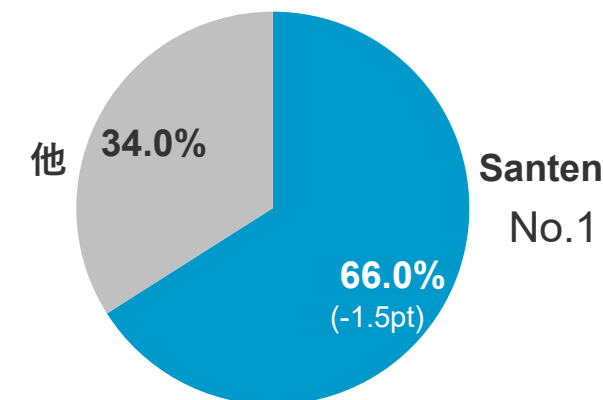
Total : 3,533億円



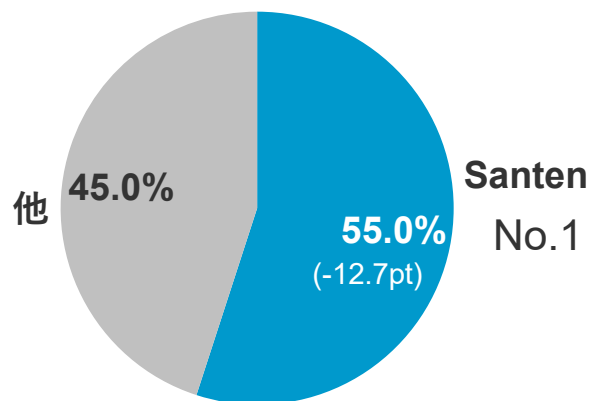
抗緑内障剤 : 759億円



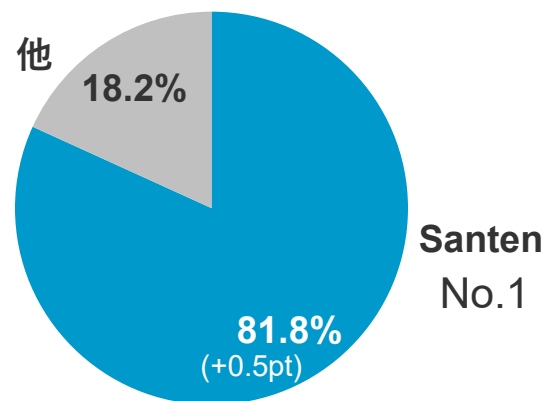
網膜疾患治療剤* : 1,454億円



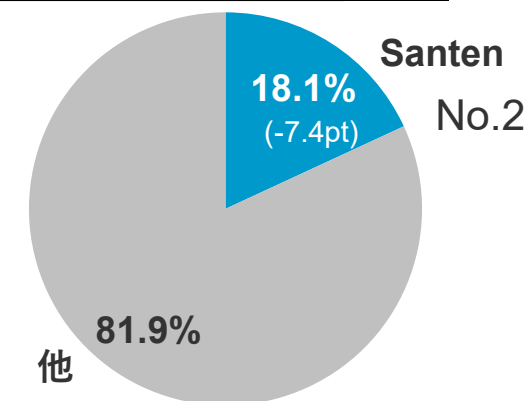
角膜疾患治療剤 : 280億円



抗アレルギー剤 : 439億円



抗菌点眼剤 : 54億円



グローバル開発の状況①

(2025年7月現在)
青字は更新情報

緑内障・高眼圧症領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況 ¹	
緑内障	タフルプロスト・ チモロールマレイン酸塩 (配合剤) タプコム、タプティコム	STN1011101 DE-111A	中国	現状：承認 計画：2025年度 上市
	オミデネパグ イソプロピル エイベリスミニ	STN1011702	中国	現状：P3 計画：2026年度 P3終了
	セペタプロスト	STN1012600 DE-126	米国	現状：P2（主要評価項目達成）
			日本	現状：申請 計画：2025年度 承認
			欧州	現状：P2（探索的試験）終了
	ラタノプロスト Catiolanze	STN1013001 DE-130A Catioprost	欧州	現状：上市
			アジア	現状：申請 計画：2026年度 承認

¹ 試験プロトコールが社内承認されたもののみ記載。

グローバル開発の状況②

(2025年7月現在)
青字は更新情報

緑内障・高眼圧症領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
緑内障	ネタルスジル メシル酸塩 Rhopressa®/Rhokiinsa®	STN101 3900 AR-13324	日本	現状：2025年7月 申請 計画：2026年度 承認
			欧州	現状：上市
			アジア	現状：上市
	ネタルスジル メシル酸塩 / ラタノプロスト (配合剤) Rocklatan®/Roclanda®	STN101 4003	日本	現状：P3 計画：2027年度 P3終了
		STN101 4000 PG-324	欧州	現状：上市
			アジア	現状：上市

グローバル開発の状況③

角結膜疾患（ドライアイを含む）領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
春季カタル	シクロスポリン Verkazia	STN1007603 DE-076C	中国	現状：承認 計画：2025年度 上市
ドライアイ	オロダテロール 塩酸塩	STN1014100	日本	現状：2025年5月 P2b開始 計画：2026年度 P2b終了
フックス 角膜内皮 ジストロフィ	シロリムス (点眼剤)	STN1010904 ¹	米国 フランス インド	現状：P2a 計画：2025年度 P2a終了
マイボーム腺 機能不全	シロリムス (点眼剤)	STN1010905	日本	現状：追加P2a 計画：2025年度 追加P2a終了
アレルギー性 結膜炎	エピナスチン塩酸塩 (眼瞼クリーム)	STN1011402	日本	現状：上市
			中国	計画：2025年度 P3開始
			アジア	計画：2025年度 申請
	エピナスチン塩酸塩 (1日2回点眼)	STN1011403	中国	現状：申請 計画：2026年度 承認
翼状片	ニンテダニブ	STN1014200 CBT-001	日本	計画：2025年度 P2b開始

1 当該プログラムはSantenが独占的实施権の行使オプションを保有。本プロジェクトコードは、第Ⅱ相臨床試験終了時にSantenが独占的实施権を獲得した後に附番予定のコードです。

グローバル開発の状況④

(2025年7月現在)
青字は更新情報

屈折異常領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
近視	アトロピン硫酸塩 リジュセアミニ、Ryjunea	STN101 2700 DE-127	日本	現状：上市
			中国	現状：P2/3 計画：2026年度 P2/3終了
			アジア	現状：2025年7月 申請 計画：2026年度 承認
		STN101 2701 SYD-101	欧州	現状：2025年7月 ドイツで上市

グローバル開発の状況⑤

(2025年7月現在)
青字は更新情報

その他の領域

効能・効果	一般名など	開発コード	臨床開発の状況	
眼瞼下垂	オキシメタゾリン 塩酸塩	STN10 13800 RVL-1201	日本	現状：申請 計画：2025年度 承認
			欧州	現状：P3 計画：2025年度 P3終了
			中国	現状：P3 計画：2026年度 P3終了
			アジア	計画：2026年度 申請
網膜色素変性症	jCell	STN 6000100	—	現状：jCyte社P3試験計画策定中

重要な注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。また、当社は本資料の内容を随時更新する義務を負うものではありません。
- リスク要因としては、以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
医薬品行政の動向、社会・経済情勢ならびに法規制の変更、為替などの外部要因。後発品の影響などの競争環境の変化。主力製品への依存、ライセンス製品への依存、原薬供給等の特定の取引先への依存などの特定の製品・取引先等への依存。新薬開発の不確実性、研究開発投資が十分な成果を生まない可能性、他社との提携の成否などの研究開発活動に起因するもの。その他知的財産権、自然災害などに伴う生産の停滞・遅延、販売中止・製品回収等の製品供給に起因するもの、訴訟およびグローバルな事業展開に関わるリスクなど。
- 本資料には、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は投資家の参考になる情報の開示を目的としており、投資の投資勧誘や推奨を行うものではありません。投資に関するご決定は皆さま自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に記載された情報は今後予告なく変更されることがあります。本資料の利用にあたっては利用者の責任であり、記載された情報の誤り等を含み本資料の利用によって生じた損害について、当社は一切責任を負うものではありません。

